

録画配信 **障害児福祉**

つぶやき
障がいがある子ども市内で安心して暮らせるように

日本共産党戸田市議団
むとう 葉子 議員

Q 特別支援員の処遇改善と増員を

A 働きやすい環境づくりに努め、増員は検討

議員 ①障害のある子が小学校に入学する際の連携は②特別支援学級の先生の研修に係る支援体制は。特別支援員の雇用条件見直しと増員を③放課後等デイサービスの廃止の流れと市の支援体制は。

教育部長 ①10月の就学児健診に先駆けて、4月から就学相談を行っている②県や市の研修に参加するほか、リアルタイムでのサポートを受けられる体制などが整っている。また、支援員が働きやすい環境づくりに努めるとともに、増員については財政部局と相談し、総合的に検討する。

健康福祉部長 ③児童福祉法に基づき、事業を廃止する際は、他の事業所と連絡調整を行い、事業を廃止する1か月前までに知事に届出を行うことが規定されている。市は個々の利用者の状況に応じて必要な支援を行う。

議員 民間が運営する放課後等デイサービスが廃止されて、他事業所からは利用を断られる重度(重複)の障害児がいる。埼玉県へ報告し、課題解決を求める。



障害のある子が通う放課後等デイサービスでの活動

その他の質問

Q ジェンダー平等社会の実現を。

A 理念の更なる浸透に向け、今後も意識啓発に努める。

録画配信 **防災・減災**

つぶやき
驚き！直接死より関連死の方が多いとは

公明党
三浦 芳一 議員

Q 避難所改善へ「スフィア基準」の導入を

A 避難所運営等の重要な基準と認識

議員 避難所での災害関連死が、直接死を上回っている。主な支援分野「水・衛生」「食料・栄養」「避難所・避難先の居住地」「保健医療」がある。国際基準である「スフィア基準」の導入を強く求める。

危機管理監 今後もスフィア基準を参考としながら、災害への備えをさらに進めていく。

議員 避難者が一番困った事はトイレ問題。女性のトイレは男性の3倍必要、対策を求める。

危機管理監 スフィア基準も踏まえて、避難生活の質の向上に向けて総合的な対策に努めていく。



トイレ問題の対策が求められる

Q 「ありがとう」条例の啓発・促進を。

A 機会を捉え取り組む。

議員 善悪に渡り言葉には力がある。感謝の言葉「ありがとう」を伝え合おう条例の全市的な啓発・促進を。
企画財政部長 チラシや啓発グッズの作成等の他、またイベント会議等の様々な機会を捉えて取り組んでいく。

教育部長 市内全校に、校長会議等を通じ周知している。学校教育全般で感謝の気持ちを持ち、無理なく自然に「ありがとう」を伝え合う意識を醸成していく。

録画配信 **高齢者支援**

つぶやき
聞きやすくなるので安心して相談できます！

公明党
三輪 なお子 議員

Q 軟骨伝導イヤホンを導入しては

A 効果や利用実態を調査し判断する

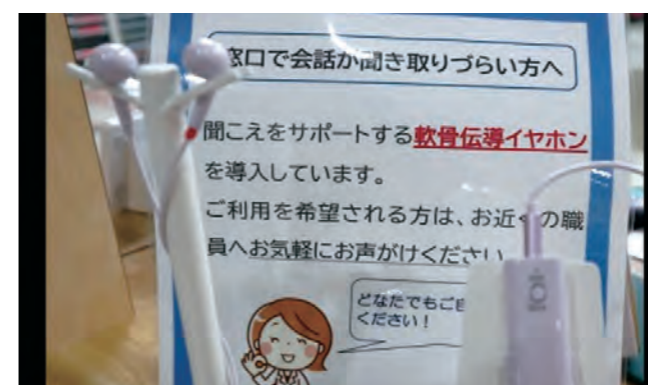
議員 市役所窓口で、耳の聞こえにくい高齢者の方などが安心して相談できる体制について伺う。

健康福祉部長 手話通訳者や簡易筆談器、コミュニケーションボード等を活用している。個人情報など配慮が必要な場合など個別の対応を行っている。

議員 軟骨伝導イヤホンを相談窓口を設置する自治体などが125団体に上る。耳の穴に入れなくても明瞭に音が聞こえ、大声で話すこともなく個人情報を周囲に聞かれるリスクを減らすことができる。難聴者のプライバシー保護につながるため導入してはいかがか。

健康福祉部長 その効果や利用実態を把握し、調査内容を踏まえ、設置すべきかどうか判断していく。

議員 ぜひ、軟骨伝導イヤホンの導入を要望する。



軟骨伝導イヤホン(紀美野町公式ホームページより引用)

Q 認知症予防「物忘れ検診」を実施しては

A 医師会との連携、調整などを検討

議員 多くの自治体で実施の認知症を早期に診断し、支援を図る目的とした「物忘れ検診」の導入について。
健康福祉部長 蕨市医師会や二次保健医療圏域を同じくする蕨市及び川口市と連携及び検討する必要がある。

議員 先進自治体の事例を検証し、検討を要望する。

録画配信 **ホームドア設置**

つぶやき
1日も早いホームドアの設置を！

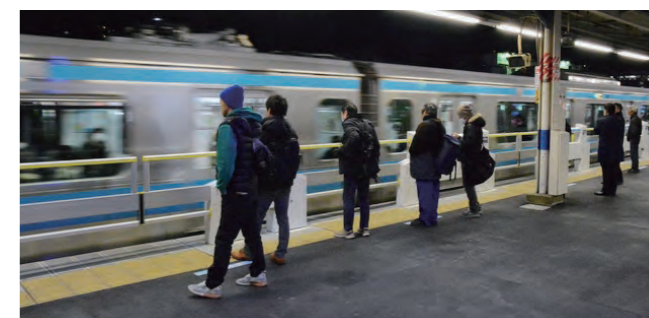
公明党
竹内 正明 議員

Q 埼京線3駅での人身事故多い。対策を

A 積極的かつ強力で働き掛けていく

議員 埼京線3駅で人身事故が多すぎるとの声が多い。平成28年にも質問している。対策を。市長の決意は。

市長 制度や技術的・物理的な側面からホームドア設置に向けた環境が整いつつある。1日も早い設置に向けJR東日本に積極的かつ強力で働き掛けていく。



早急なホームドアの設置が求められます

Q さらなる防犯対策の強化を

A 他市の取り組みを参考に検討を進める

議員 私が議員になった12年前には市の予算で設置した防犯カメラはなかった。提案し続け現在は見守り防犯カメラなど400台まで拡大した。しかし、県内でも強盗事件が多発し市民から不安の声が多い。特殊詐欺の被害も発生している。さらなる防犯対策の強化を。

市民生活部長 自宅の防犯対策への支援、「特殊詐欺防止の警告アナウンス付き自動録音機」の貸出事業など、市においても検討を進めていく。

その他の質問

Q シニア世代の活動活発化のために、「アクティブシニア・サポート・ナビ」や「集いの場マップ」などのシニア活動が網羅されている資料の周知を。

A 各種イベントや出前講座など、シニアが集まる場所でのPRなどを行っている。